

地区広報 芸術の森

題字 平澤 博

第28号

平成26年 3月31日

発行 地区広報・芸術の森
編集委員会

印刷 株式会社 孔版社



冬のイベント「雪あかりの祭典」

— 雰囲気は明るく、楽しみも多く終わることができました —

芸術の森地区連合会 会長 関 口 明

雪あかりの祭典も平成18年より始まり9回目になりました。1月25日より2月11日までのロングランでの開催でしたが、何れの会場も各種イベントを交えて楽しみの多いものとなりました。

トピックとしては、南老人福祉センター・石山緑地会場に数多くのアイスクャンドルのほかに、やや大型の「ふくろう」の雪像が現れたこと、札幌芸術の森会場では今までのアイスクャンドルに比べてやや小型の「しずく型キャンドル」が約千個点灯されました。

2月18日の反省会では、このキャンドルを札幌芸術の森から関口美術館、市立大学までキャンドルで繋ぐことが話し合われました。これが実現すると同日開催の3会場の距離が近く感じられるのではと思われます。この実現には関係する芸術文化施設、大学および地元の方々の3者による「しずく型キャンドル」の作り方講習会、習得後のキャンドル作り、祭典日に合わせたキャンドルの準備と点灯等について、協力体制を構築

する必要があります。

◆札幌国際芸術祭への参加協力

当芸術祭には、札幌芸術の森美術館がメイン会場の一つになります。連合会としては、会員でもあります札幌芸術の森の支援のため、歓迎の看板掲示をはじめ絵画に関するサークルに呼びかけ、芸術の森の池の辺りや野外美術館での写生会の開催と、作品の展示を地区会館ロビーなどで行ないます。

また、大小折り紙の作品づくりと展示も考えています。これには折り紙講習会に際し、先生のほかにアシスタントの方も数名指導に当ることになります。

◆PMF（国際教育音楽祭）の支援

国際イベントとして毎年開催されている当音楽祭は、本年の開催時期が芸術祭と重なりますが、この音楽祭のPRとして国道453号に旗を掲示しており、引き続き地元の方々のご協力をお願いいたします。



新年度へ向けて

芸術の森地区社会福祉協議会 会長 堀 川 昭 八

日頃より当社会福祉協議会活動について、暖かいご理解ご協力を賜りありがとうございます。

今年度の事業実施につきましては、もりの仲間の主幹事業をはじめ、朝市などの協賛事業を含め予定通り進めさせていただいたところであり、重ねてお礼を申し上げます。

なおこのあと26年度事業につきましては、急速に変

化する社会情勢をふまえた会則等の一部改正等を考えておりますが、発足以来の活動方針ともしている基盤強化・体制整備、そして今年度から新規にはじめられた異世代交流事業実施などの、変更は考えておりません。

26年度総会時の御審議と、変わらぬご理解ご協力をお願いして御挨拶いたします。



青少年育成委員会の1年間の活動を振り返り

芸術の森地区青少年育成委員会 会長 前口 敦司

25年度も残りわずかとなりました。23年4月より新委員会が始まり早いもので3年が経とうとしています。そして改選の年になります。3年間の任期はあっという間でした。それとともに充実した活動がてきたと自負しています。それもひとえに地域の皆様のご協力があってこそです、皆様方には心より感謝申し上げます。

さて本年度の事業報告ですが、2年目となるサマリークリエーション（7月下旬、参加55名）、常盤中学校アイネットワーク共催の教育フォーラム（10月）、南区少年少女親善スポーツ大会（11月中旬、参加5チーム）、交流もちつき大会（12月・動員数約200名）、小学生スキー教室（1月・参加25名）、地域のお手伝いとして森の仲間の三世代交流会（9月）、芸術の森音

楽祭（11月）、南区成人式（1月）、祭事のパトロール（随時）等々の事業も地域の子供達と一緒に活動できました。特に南区少年少女親善スポーツ大会では中高2部門独占優勝という快挙を達成しました。また他の事業もたくさんの参加があり、とても楽しい活動ができました。

当委員会は本年度をもちまして設立17年になります。2月15日にはOB会を行い諸先輩方の懐かしいお話しや今後の活動の参考になるご意見をいただきました。

26年度も変わらず子供達と一緒に楽しい活動をしたいと思っていますのでその際には地域や保護者の方々の一層のご理解と御協力お願い致します。

26年度もガンバります！

●防犯防災部●

「災害・危機に備えて」～出前講座より～

防犯防災部長 山本 悟

昨年11月26日芸術の森地区会館において、札幌市危機管理対策室計画担当課長 佐々木真一氏をお招きし出前講座を開催しました。風水害や土砂災害等に対する備えについて貴重で有益な話を伺えましたが、その中から地震災害に関する講義の一端を紹介し、聴講できなかった方々に注意を喚起したいと思います。

市内では近年死者が出る地震は発生していないことから、「札幌は地震の少ない街」と思われがちですが、決してそうでなく「札幌でも震度7の大地震発生」の可能性があるとのことです。札幌市内には、地殻構造や液状化の痕跡、地震観測結果から野幌丘陵断層、月寒断層、西札幌断層の3箇所の際れた活断層が存在すると想定され、いずれも震度7クラスの直下型地震発生の可能性があり、中でも月寒断層ではマクニチャー

ド7.3、市街地の大部分が震度6弱・6強、震源に近い市域の東側では、一部で震度7の激しい揺れとなり大きな被害が発生するとしています。市のシミュレーション結果では、厳寒期に発生した場合建物全壊約3万4千棟、死者8千2百人、避難者20万人に達し、夏季に発生したとしても死者1千8百人に上ると推定されるということです。

このため、自分の身は自分で守る意識を基本に、身の廻りにどのような危険があるかチェックし、危険がせまった時どのように対処するかイマジネーションを高め、日頃から災害危機に備えておくことが肝要とのことでした。

永久に生きる。花と緑の明るい聖地

真駒内滝野霊園

住所: 札幌市南区滝野2番地 ☎011-592-1223

●墓参バス乗り場
平成25年4月1日から墓参バスの乗場が、地下鉄真駒内駅前にあるバスレーン中央バス③乗場に変更になっています。

■墓参バス出発時間（4～11月末迄）
※12月～3月は△のみ

真駒内駅前発		
(A) 10:10	(B) 12:10	(C) 14:10
真駒内滝野霊園発		
(A) 11:30	(B) 13:30	(C) 15:30

墓参バス乗り場のご案内

●交通安全部●

平成25年度を振り返って

芸術の森地区の皆様には、今年度も交通安全に係る各種事業にご協力を賜り心からお礼申し上げます。

さて、平成25年度は「自転車の安全利用の促進」と「高齢者の事故防止」を運動の重点として取り組んでまいりました。

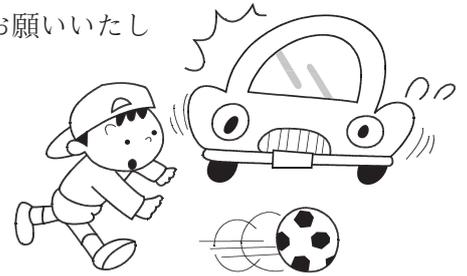
具体的には、春・夏・秋・冬の交通安全市民総ぐるみ運動に合わせた、街頭啓発等の事業を中心とし、今年度は新たに5月には自転車の街頭指導や、8月にはシュミレーターを利用した自転車の交通安全教室を常盤児童会館で開催しました。また、冬の交通安全市民総ぐるみ運動に合わせて、シュミレーターを利用した高齢者を主な対象とした交通安全教室を開催しました。

なお、今年度は7月に澄川地区と藻岩下地区において、連続した交通死亡事故が発生したため「南区交通

交通安全部長 金子 侑

死亡事故抑止緊急対策会議」が開催され、交通安全対策について協議が行われましたが、交通事故抑止のための特効薬は無く、日頃からの地域の皆様の地道な取り組みと、運転手・歩行者の自覚が大切であることを再確認したところであります。

これからも、芸術の森地区から交通事故の撲滅を目指して努力してまいりたいと思いますので、地域の皆様のご協力と交通安全意識の向上にご協力をお願いいたします。



●環境衛生部●

ご協力ありがとうございました

常日頃、環境美化、環境衛生、ごみ減量、リサイクル意識に根差した「クリーンさっぽろ」の実現を目指す活動に暖かいご理解と御協力を頂きありがとうございます。

平成18年度から不法投棄の監視・回収活動を行っていますが、今年度は11月3日(日)にかっこうを語る会により、石山2号線の不法投棄回収活動を実施しました。以前に比べると一般住民が投棄したと思われる生活ゴミは減ったように思われますが明らかに事業者の廃棄物が1ヶ所に多量に散乱しておりました。

環境衛生部長 佐藤 浩

回収活動に参加して下さった方は20名。紙面をお借りし厚くお礼を申し上げます。今後とも更なるご協力を賜ります様お願い申し上げます。

なお、平成25年度の南区クリーンさっぽろボランティア実践者表彰として2名の方が受賞されました。(本誌おめでとう欄に掲載したとおりです)



札幌芸術の森

広い園内を利用して10項目ほどのプログラムを行いました。「屋外美術館」ではトレジャーハンティング（宝探しゲーム）、しずく型アイスキャンドルづくり、天体観望会、かんじきウォーク、すべり台等があり、かんじきウォークやすべり台はたくさんの親子づれで賑わっていました。



しずく型キャンドル

「アートホール」で行ったもちつき大会は地域の方々の協力の下、小さいお子さんの参加もあり、つきたてのもちをお汁粉などで頂いていました。



もちつき大会

当日の参加人数は、すべり台の500名を筆頭に1,300名余りでした。



今年の「芸術の森」各会場とも気温はまずまずの天気の中

「雪あかりの祭典」は、次

- 1月25日：・札幌芸術の森・札幌市立
- 1月30・31日：・駒岡小学校
- 2月1・2日：南老人福祉センター&見晴
- 2月2日：芸術の森地区会館&常盤1
- 2月11日：札幌市保養センター駒岡

札幌市立大学 (ARTOU)

今年は、「あったかい みなみくへかえろう」をテーマに行いました。エントランス、アリーナ、グラウンドを使い、いろいろな催しを行いました。アリーナでは地域のサークル、児童会館の子供たちの発表、そして大学のサークルの演舞等を行いました。エントランスでは2m×2m×8m程の巨大なアンドンの下、17時30分から吉岡南区長を迎えて点灯式を行いました。また、来場された方に汁粉、うどん入り豚汁を振る舞っていました。グラウンドではチューブすべり、アイスキャンドル、雪のスクリーンへの映写、花火が打ち上げられました。来場者は200名程でした。



フラダンス



灯籠

常盤児童会館

子供たちはキャンドルを手作りしてまず楽しみました。フローティングキャンドル、ホイップキャンドル作り。フローティングキャンドルではアロマオイルをプラスして、すきな香り、すきな色を選んで、楽しみました。雪に穴をあけ、この中にキャンドルを立てるとスノーキャンドルの完成です。日没より皆でこれに点火しました。夕方には冷え込んでしまいましたが、あたたかいスープを飲んだり花火をしたり子供たちは元気に楽しんでいました。



キャンドル作り

駒岡小学校 (スノーフェスティバル)

午前中は、スキー遠足で汗を流しました。この日はこの行事で初めて小雨に合いました。

午後からは「みずなら班」（1年生から6年生までの縦割り班）での活動、開会式、雪像発表会そして夕飯炊飯



もちつき大会

動をして皆でいただきました。18年生から6年生までを振りました後は、アチで作った入学予定の

関口雄揮記念美術館

美術館前庭に、市立大学山田ゼミの二人によるオブジェ、アーティストmeg製作のキャンドル、前庭通路にスノーキャンドルが灯り静かに輝いていました。来場者は外の作品を見て、中でジャズを聞きながらココアで暖まり、楽しんでいました。



雪あかりの回廊



ジャズ演奏





森地区「雪あかりの祭典」は、厳しくなく、風もあまりない中で終わることができました。

芸術文化部長 島田 三千春

次の日程で行われました。

大学・関口雄揮記念美術館・常盤児童会館

町内会
号橋

札幌市保養センター駒岡
(こまおが冬まつり)

今年は屋内パークゴルフ場が使用できないため、本館で実施しました。2階ロビーには「朝市」10店が出店していました。屋外では、「雪だるマンコンテスト」が行われ、製作に当初申込より少ない（インフルエンザによる）4組10名が参加して、終了後皆さんにお疲れさんの意をこめて景品が渡されました。2階大広間では「雪あかりコンサート」が行われ・サクソ演奏・カラオケ講座生による発表・アマチュアバンド演奏が行われました。「大じゃんけん大会」は大いに盛り上がり、景品には朝市出店者等からの協賛品が渡されていました。豚汁、コーンスープの提供もあり、17：00からは、玄関前・通路に



雪あかりコンサート



置いたアイスキャンドルに点灯して楽しい1日を過ごしました。来場者は390名程でした。

南老人福祉センター&見晴町内会
(雪あかりの祭典・スノーフェスタ)

今年は昨年とうって変わって穏やかな天気にも恵まれました。各種の製作準備に450名余りの人が関わり、キャンドル数はアイス、ペットボトル、スノーなど1,700個余りが展示されていました。また、大小の滑り台、雪像、子だるまなどがあり、初日から子供たちが滑り台で楽しんでいました。来場者には、豚汁、甘酒などが用意されて、皆さんセンター内で暖まっていました。来場された人は700名にのぼりました。



雪の散歩路



アイスキャンドル



キャンドルの山

3：30から「もちつき大会」。1年生まで学年ごとに全員が杵をついた。つきたての餅をいただきアイスキャンドルの中、自分たすべり台で楽しみました。新子子供も来て楽しみました。

芸術の森地区会館&常盤1号橋

この会場の開催は3年目を迎えました。会館前庭・通路に50個のアイスキャンドル、他にスノーキャンドルを点灯しました。2階ホールでは、地元の野菜などの「夕市」、各種ホットドリンク、そして「あったかーいすいとん」が振る舞われていました。また、「オカリナ北曲星」によるオカリナ演奏で楽しんでいました。



オカリナ演奏



常盤1号橋では、しずく型のキャンドル40基がともされ、新鮮でかわいらしく、道行く住民の方々にも大変好評でした。

社協研修会

患者 家族 地域をつなぐことが大事

去る11月12日、芸術の森シルトピアを会場にして、社会福祉協議会主催の講演会が開催されました。

講師の松田諭先生（栄町ファミリークリニック院長）は、札幌市内でも数少ない家庭医療専門医で北海道家庭医療学センター理事であり、医療法人北海道家庭医療学センター事務局を病院内に設置して家庭医療を実践されている先生です。

日本の中でも30年ぐらい前には当たり前だった地域のお医者さん。地域住人とのつながり、患者一人一人の個性や家族の状況、子供からおじいちゃんからおばあちゃん、どのような健康問題でも専門外などと言わずにとにかく診てくれる。呼ばれば往診もし、場合によっては夜中に診療することもある。そんなイメージの病院を目指していて、海外では一般的だそうです。内科、外科、小児科はじめ整形外科、皮膚科、耳鼻科など多科にわたる「家庭医療科」です。

病気を抱えながら地域で暮らす人をサポートする病院、「総合診療科」がこれからは一般的に聞くことに

—栄町ファミリークリニック院長 松田 諭 先生—

なるでしょう。健康とは「検診で異常なし」だと思ってしまうのですが、大事なことは、食事・運動をしっかりとすることです。酒・たばこをひかえ、家族や友人の繋がりがあって、ゆとりが大事です。

公演の合間に何度か隣同士との会話を呼びかけ、会話の必要性を強調されました。医学の発達でぼっくり死ねない時代です。健康は、病気減らしだけでなく元気づくりが必要です。「最近こんなことが新しい気付きがあった」ということを隣同士で話してみませんか。

「人に感謝されたとき」「友人と本音を分かち合ったとき」「目標に向かって生活できたとき」など話が出ました。健康とは、改めて考えさせられました。



(文責 馬場 宏)

もいの仲間の子育てサロン

0歳から就学前の子育て中の親子が集う場所です。お友達と遊ばせたい、ママ友とおしゃべりをしたい。子育てに忙しいお母さんたちの息抜きの場になると思います。おもちゃ・本などが充実しています。

子育て支援部長 三上良子



開催日 毎月第1・第3水曜日10:00~11:30
開催場所 芸術の森地区福祉のまち推進センター
(南老人福祉センター内)

無料です

26年度の開催日はつぎのとおりです。

4月2・16/5月7・21/6月4・18/7月2・16/
8月6・20/9月3・17/10月1・15/11月5・19/
12月3・17/1月7・21/2月4・18/3月4・18/

芸術の森地区福祉施設を訪ねて その2

私たちが住む芸術の森地区内に福祉施設が多くあります。それらの施設を訪ね歩いて、みなさんに広くお知らせしたいと思います。どんな施設があるでしょうか。

札幌市南デイサービスセンター

(札幌市南老人福祉センター内)

(南区石山78番地68) 電話番号 591-3100

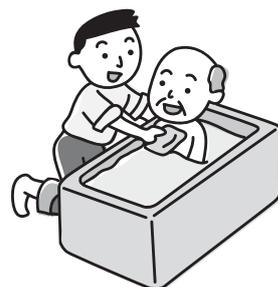
デイサービスとは、要介護認定で介護が必要と判定された方が、日帰りで送迎・健康チェック・入浴・食事・スタッフや他のご利用者様との交流や体操、レクリエーション等のサービスをご利用いただき、楽しく充実した1日を過ごしていただくとともに、ご家族様の介護負担の軽減を図ることを目的としています。

当デイサービスセンターは、老人福祉センター内に併設しており、囲碁や各種行事、サークルなど老人福祉センター利用者との交流もあります。

株式会社 サポート枝 (Support Eda)

(南区真駒内332-519) 電話番号 592-3440

介護保険・障がい者総合支援法・札幌市における移動支援事業の趣旨に従い、高齢者の方、心身に障がいをお持ちの方が、可能な限り居宅において自立した日常生活または、社会生活を営むことができるようホームヘルパーを派遣し、必要なサービスを提供します。



・福祉施設を見学しました・

— 栄和会 (厚別区) —

高齢者支援部長 永川 陽子

例年実施しております福祉施設の見学・研修ですが、去る12月3日(火)午後1時から厚別区にある栄和会に行ってきました。本会は、3つの施設が一つにつながっている市内でも珍しいつくりとなっていました。その3施設とは 1. ケアハウスやすらぎ 2. 特別養護老人ホーム厚別栄和荘 3. 介護保険施設あつべつ です。入所者の症状が重くなったり、またはリハビリのおかげで軽くなったりした場合は、同施設の中で移動することも可能だそうです。慣れ親しんだ施設中の移動は高齢者にとって負担が少なく望ましいと思われました。この研修会は共同募金の御協力により毎年1~2回実施されています。来年度も予定していますので是非御参加下さい。



・ときわ蕎麦 食のふれあい交流会・

ふれあい部長 下総 仁志

去る12月7日(土)に初めての試みとして、芸術の森地区に居住されている手打ち蕎麦愛好家の牧野博巳様他2名のご協力を戴き、「挽きたて」、「打ち立て」、「茹でたて」の香り豊かな新そばを食べながら交流する催しを開催しました。



当日は、牧野様他2名の方が早朝から蕎麦打ちを開始し、11時から蕎麦打ちのデモンストレーションを行いました。講師の牧野様の絶妙なトークを聞きながら蕎麦打ちの妙技を鑑賞し、参加者自ら麺棒を操り、麺を伸ばしたり、切ったりして体験しました。

体験した方の中には、ご自宅で何回か蕎麦を打った経験をお持ちで上手に蕎麦打ちをされた方や、初めて経験した方などで、多くの会話が飛び交い楽しい蕎麦打ち体験でした。

12時から茹でたての香り豊かな蕎麦を食べながら楽しい会話を楽しみ、至福のひと時を味わいました。

当日の参加者38名でした。



入所サービス
ショートステイ

みなさまの想いにおこたえいたします

通所リハビリテーション
介護予防通所リハビリ



医療法人 愛全会
介護老人保健施設
〒005-0849

アートヒルズ

札幌市南区石山837-47



みんな しあわせ 365日
0120-348-365



第42回 南区少年少女親善スポーツ大会

青少年育成委員会

11月24日(日)南区体育館において、第42回南区少年少女親善スポーツ大会(ドッジボール)が開催されました。

今年は参加チームが増え、中学年チームは、16チームで芸術の森地区からは2チーム、高学年チームは17チームで、芸術の森地区からは3チームが参加し、熱戦が繰り広げられました。

結果は次のとおりで、石山東チームが、中学年、高学年の両方を制しました。

中学年の部

優勝 石山東パンサーズ



高学年の部

優勝 石山東バイソンス



第3位 常盤YES



選手の皆さんおめでとうございました。また、また指導していただいた石山東小、常盤小の先生、コーチの皆さんお疲れ様でした。

交流もちつき大会

青少年育成委員会

昨年12月8日(日)常盤児童会館で、交流もちつき大会を行いました。

子供たちは、お餅を家族と一緒に、お雑煮、お汁粉、黄な粉、納豆、おろし大根など好きな食べ方を選び、お代わりをしながら美味しく食べていました。また、子供用の杵で餅つきを体験したり、エレクトーン演奏を聞きながら、踊ったりと、楽しいひと時を過ごしました。

今年は、常盤地区出身の札幌市立大学生や、高校生が餅つきのお手伝いに来てくれて、老化現象著しい委員一同、多少楽をさせていただきました。

来年も予定していますので、おいしいお餅を食べに、楽しい一時をすごしに参加してください。お待ちしております。

お手伝いしてもらった子供たち、地域の皆さんどうもありがとうございました。来年もまたよろしくお願ひします。



小学生初心者スキー教室開催

青少年育成委員会

1月11日(土)、今年も藤野のFu'sスノーエリアにおいて、小学生の初心者を対象にしたスキー教室を開催しました。

当日は風が強く、小雪まじりと今年一番の寒さの中、駒岡小、石山東小、常盤小から31名が参加しました。寒さと、思い通りにならないスキーと悪戦苦闘していました。午前中滑れなかった子も、午後からはリフト



に乗り、何とか滑れるようになりました。子供達の上達振りには目を見張るものがありました。

お昼は、みんな大好きなカレーライスで、お代りもしていました。

学校のスキー教室で、成果ができることを祈ってやみません。

来年も予定していますので、定員はありますが、参加をお待ちしております。



第7回パークリング大会

主催 芸術の森東地区スポーツ振興会

2月23日(日)石山東小学校体育館において、開催されました。

当日は、ソチ冬季オリンピックの最終日でした。日本選手団の活躍に、感動と元気をもらいました。余談になりますが、パークリングのヒントは、98年長野オリンピックで見たカーリングでした。

当大会も7回目を迎えました。天候にも恵まれ、子供も含めて66名の参加者でした。皆さん1球ごとに歓声を上げて楽しんでプレーをしていました。

優勝 駒岡団地グループ(齊藤章吾さん・節子さん・伊東マサ子さん)
準優勝 石山東Aグループ(中島義人さん・山田勝利さん・片岡誠さん)
第3位 見晴Fグループ(箕輪博さん・日下田久子さん・金子丞さん)
子供の部 優勝 増田 奈々子さん 準優勝 増田 大貴君
3位 ゼフ ジェイク君

以上の皆さんでした。

パークリングは大人も子供も楽しめる競技です。来年も多くの皆様の参加をお願いします。



新民生委員・主任児童委員紹介

民生委員

No.	氏名	担当町内会名	No.	氏名	担当町内会・学校名
901	川口 武	石山八区	914	東 十八子	常盤一区
902	三宮 太蔵	見晴	911	佐久間久幸	アートパーク
903	齋藤 公博	石山東	909	吉野喜久雄	サンブライト
904	吉澤 孝子	石山東	913	佐々木孝和	常盤二区
910	北村 修一	石山東	907	島田三千春	真駒内駒岡・駒岡団地・真駒内二団
905	塩田 恒雄	常盤団地	908	岡部 龍幸	滝野・真駒内三団
915	下総 仁志	常盤団地	主任児童委員		
906	宮腰 夕子	常盤一区	916	江上 裕香	石山東小・駒岡小
912	小林 眞美	常盤一区	917	清水 智子	常盤小・常盤中

健康運動教室

芸術の森地区まちづくりセンター 正源 初恵

平成26年1月30日(木)、2月27日(木)芸術の森地区会館にて「健康運動教室」が開催されました。

芸術の森地区連合会主催により、コンサドーレ札幌の協力を得て平成23年度より行っているこの教室は、理学療法士の講師による、明るく軽快なお話の進行で、どなたでも無理なくマイペースで行えます。今回は、簡単な動きで体のバランスが良くなる「体幹トレーニング」をおこないましたが、初めての方でも楽しい雰囲気のおかげで、心と体がとてもリラックスできました。



「くろぎの宿」 駒岡

札幌市保養センター
宿泊、休憩、入浴、パークゴルフ
レストランなど低料金でご利用
いただけます。
お気軽にお越しください。



※無料送迎バスあり
札幌市内1ヶ所のみ
(10名様以上・要予約)

老人クラブ限定プラン

・日帰り 2,000円～
5,000円～
※10名様以上より承ります。

入浴料金

・60才以上 300円～
小学生
・中学生以上 400円～
60才未満

宴会プラン

・日帰り 2,000円～
・宿泊 5,000円～
※10名様以上より承ります。

季節膳 4月～5月

1泊2食 ¥6,500～
(※4月のみ暖房料が別途かかります)
※2名様以上無料送迎付(札幌市内1ヶ所、要予約)

TEL 011-583-8553
FAX 011-583-8574
札幌市南区真駒内600番地20
指定管理者 札幌市福祉事業団

保養センター駒岡 検索

真駒内川改修工事進捗状況について

真駒内川を考える会 会長 関口 明

真駒内川改修工事（真駒内1号橋―常盤1号橋間）は、平成17年（2005年）に始まり早いもので8年が経過しました。

此の間、平成23年9月には大雨により折角改修した斜路工流失、岩盤剥離等が発生し大幅な補修工事がありましたましたが終了し、現在行われている石山東町内会側の①護岸対策工事、②転落防止柵設置工事を以て、常盤1号橋迄の予定全区間の改修工事が終わります。（25年度末までの予定）

平成26年度は国の予算次第ですが、常盤団地町内会側及び石山東町内会側藻南学園橋迄の管理用道路（歩道）の改修に掛かる予定です。

また「真駒内川河床低下対策検討会」（専門家4氏による）は現状確認、今後の河床低下対策に向けた検討会を3月6日開催されました。しかしながら完了には更に2～3年かかる予定とのことです。

札幌建設管理部並びに工事業者には、説明会の都度工事車両の安全の確保と土砂排出・道路の除雪・砂埃・泥等の衛生面になお一層の気配りをお願い致しますので、該当地区の皆様には歩行、車の利用・駐車等にご注意頂くと共に、今後とも工事へのご理解とご協力をよろしくお願い致します。



～おめでとう～

○地域安全活動（防犯）功労者表彰

常盤団地町内会 夜間パトロール隊 様

○南区クリーンさっぽろボランティア実践者表彰

滝野町内会 岩下 浩幸 様
常盤団地町内会 小林 栄 様

構成団体総会日程

構成団体	平成26年	開始時間
交通安全運動推進委員会	4月10日(木)	11:00
地区青少年育成委員会	4月12日(土)	17:00
女性部・交通安全母の会	4月17日(木)	13:00
連合会	4月19日(土)	15:00
南区老人クラブ連合会第7ブロック	4月22日(火)	13:00
統計協	5月7日(水)	17:30
地区社会福祉協議会	5月10日(土)	15:00
常盤体育振興会	5月10日(土)	18:00
東地区スポーツ振興会	5月17日(土)	15:00
クリーンさっぽろ衛生推進委員会	5月21日(水)	18:30

編集後記

- ・新しい年を迎えて3カ月が過ぎました。改めて皆様のご多幸をお祈り申し上げます。
- ・1月中は、昨年より雪が少なく安堵しておりましたが、2月の中頃よりどっと降り続き、昨年に匹敵するような積雪になり、雪害がないことを祈っておりました。
- ・本誌が皆様の手元に届くころには、消費税が3%上がり8%になっています。そして来年10月には更に2%上がって10%になる予定です。一方、年金は25年12月支給分から1%減、そして本年4月から1%、更に来年4月から0.5%減額される予定です。高齢化する社会の中で、いくら景気が良くなったとしても厳しい市民生活が目に見えてくるようです。
- ・「雪あかりの祭典」も無事終わり、新しい平成26年度です。会員皆様のご健勝をお祈りいたします。

広報「芸術の森」編集委員会

委員長 島田三千春 委員(監査) 馬場 宏
副委員長 三上 良子 委員 繁在家公恵
委員(会計) 火山 正己